

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から

平成 29 年 3 月 31 日まで

一般財団法人難病治療研究振興財団

目次

I. 総務に関する事項.....	3
1. 理事会の開催.....	3
2. 評議員会の開催.....	3
3. 賛助会員.....	4
4. 寄付金.....	4
5. 事務局の組織.....	4
II. 事業の実施に関する事項.....	5
1. 調査研究事業.....	5
2. 普及啓発及び講演会開催事業.....	5
3. 研究協力・助成事業.....	5
4. 国際学術交流事業.....	6
5. 広報事業.....	6
III. 附属明細書.....	7

I. 総務に関する事項

1. 理事会の開催

第8回理事会

本理事会は定款第41条及び第42条の規定に基づき会議開催による決議及び報告の省略を行ったため、理事全員の同意書により決議があったものとみなされた。

決議があったものとみなされた日：平成28年6月3日

決議事項：

- (1) 平成27年度事業報告の承認
- (2) 平成27年度決算書の承認
- (3) 平成28年度事業計画・収支予算書の承認
- (4) 理事選任名簿の承認
- (5) 監事選任名簿の承認

第9回理事会

本理事会は定款第41条及び第42条の規定に基づき会議開催による決議及び報告の省略を行ったため、理事全員の同意書により決議があったものとみなされた。

決議があったものとみなされた日：平成28年8月20日

決議事項：

- (1) 理事長、専務理事及び常務理事の選定

第10回理事会

本理事会は定款第41条及び第42条の規定に基づき会議開催による決議及び報告の省略を行ったため、理事全員の同意書により決議があったものとみなされた。

決議があったものとみなされた日：平成29年2月24日

決議事項：

- (1) 理事選任（追加）名簿の承認

2. 評議員会の開催

第4回定時評議員会

本評議員会は定款第25条及び第26条の規定に基づき会議開催による決議及び報告の省略を行ったため、評議員全員の同意書により決議及び報告があったものとみなされた。

決議及び報告があったものとみなされた日：平成 28 年 7 月 5 日

決議事項：

- (1) 平成 27 年度決算書の承認
- (2) 評議員の選任
- (3) 理事の選任
- (4) 監事の選任

報告事項：

- (1) 平成 27 年度事業報告
- (2) 平成 28 年度事業計画・収支予算書

第 5 回評議員会

本評議員会は定款第 25 条及び第 26 条の規定に基づき会議開催による決議及び報告の省略を行ったため、評議員全員の同意書により決議があったものとみなされた。

決議があったものとみなされた日：平成 29 年 3 月 6 日

決議事項：

- (1) 理事の選任（追加）

3. 賛助会員

平成 29 年 3 月 31 日現在における賛助会員は 5 法人である。

4. 寄付金

平成 28 年度は 8 法人から寄付金を受領した。

5. 事務局の組織

平成 29 年 3 月 31 日現在における事務局の職員数は 2 名である。

II. 事業の実施に関する事項

1. 調査研究事業

- 1) 財団ホームページの「HPV ワクチン接種後副反応に関する医療相談窓口」への相談に対応した。
 - ・ ホームページに「HPV ワクチン副反応 熊本地震で被災された患者様へ」を掲載した。
- 2) HPV ワクチン副反応調査研究チームの活動を行った。
 - ・ HPV ワクチン副反応検討会を4回開催し、動物モデルを確立し治療法に関して検討を加えた。
 - ・ ポストバイオとして長期間有効性を示すと考えられる DNA ワクチン療法が難病に用いられる可能性が強くなってきた。

2. 普及啓発及び講演会開催事業

- 1) 日本線維筋痛症学会第8回学術集会（2016年9月18日）シンポジウム3「ヒトパピローマウイルス関連神経免疫異常症候群（HANS）の病因病態の解明に向けて」において、なぜその解明が必要なのか検討を加えた。
- 2) 第4回健康アカデミー「慢性の痛みと難病」を開催した（2016年6月12日）。
- 3) 第5回健康アカデミー「難治性のしつこい痛みを患者様の視点で考える」を開催した（2017年2月26日）。
- 4) 第1回 Bio Symposium Dermatology & Rheumatology を開催した（2017年3月26日）。

3. 研究協力・助成事業

- 1) ロシア基礎科学財団（RFBR）と医学研究協力に関する覚書（MoU）を締結した（2016年4月18日）。
 - ・ 覚書に基づく日露難病共同研究プロジェクトに関する実施計画（Implementation Plan）に合意した（2016年5月23日）。
- 2) 実施計画に基づき日露難病共同研究プロジェクトの研究テーマを募集し、決定した。
 - ・ 研究テーマの公募（2016年6月15日～9月15日）
 - ・ 日露両国での審査（2016年9月30日～2017年2月22日）
 - ・ 審査結果通知及び公表（2017年2月27日）
 - ・ 採用テーマは以下の通り
 - (1) 歯科補綴物による金属過敏症反応を司る局所のおよび全身的因子の解明に関する研究
宇田川 信之（松本歯科大学歯学部 口腔生化学講座）
Ulyana Pikhak（ Department of Restorative Dentistry, MSUMD）
 - (2) 脳の変性と機能保護におけるミトコンドリアでのエネルギー代謝と mtDNA 情報維持の役割

康 東天（九州大学大学院医学研究院 臨床検査医学分野）

Maria Volodina（Federal State Budget Institution, Ministry of Healthcare of Russia）

- ・ 助成金の交付（2017年3月）：1件50万円

4. 国際学術交流事業

1) 2016年4月18～21日に開催されたモスクワ国際フォーラム International School Conference “Interdisciplinary Approach to Osteoarticular Pathology and Bio-Rheumatology” に協賛した。

- ・ ロシア以外からの参加者：3カ国14名（日本人8名）。
- ・ 抄録集（International Journal of Rheumatic Disease (IJRD), 19 (Suppl. 1), 1-30, 2016）の出版を行った。

5. 広報事業

- 1) 財団のホームページを随時更新した。
- 2) 難病財団 NEWS を2回発行した。

III. 附属明細書

平成 28 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。